

2019年6月11日

浜松いわた信用金庫のSDGs推進について

浜松いわた信用金庫
SDGs推進部
堀崎 慎一

2010年 ISO26000（社会的責任の手引）発行

2011年 マイケル・ポーターらCSV提唱

2015年9月 SDGsの採択

GPIFがPRI（責任投資原則）に署名

12月 パリ協定の採択

2017年 9月 合併公表

2018年10月 新金庫の経営理念の根幹にSDGsを
据えると発表

2019年 1月 合併に合わせて「SDGs行動宣言」を
制定

経営理念

お客様のために

お客様の喜びを自らの喜びとし、
輝く未来を目指してともに歩んでまいります。

地域のために

新たな価値を創出し、地域の創生・活性化に貢
献します。

社会的責任
(SDGs推進)

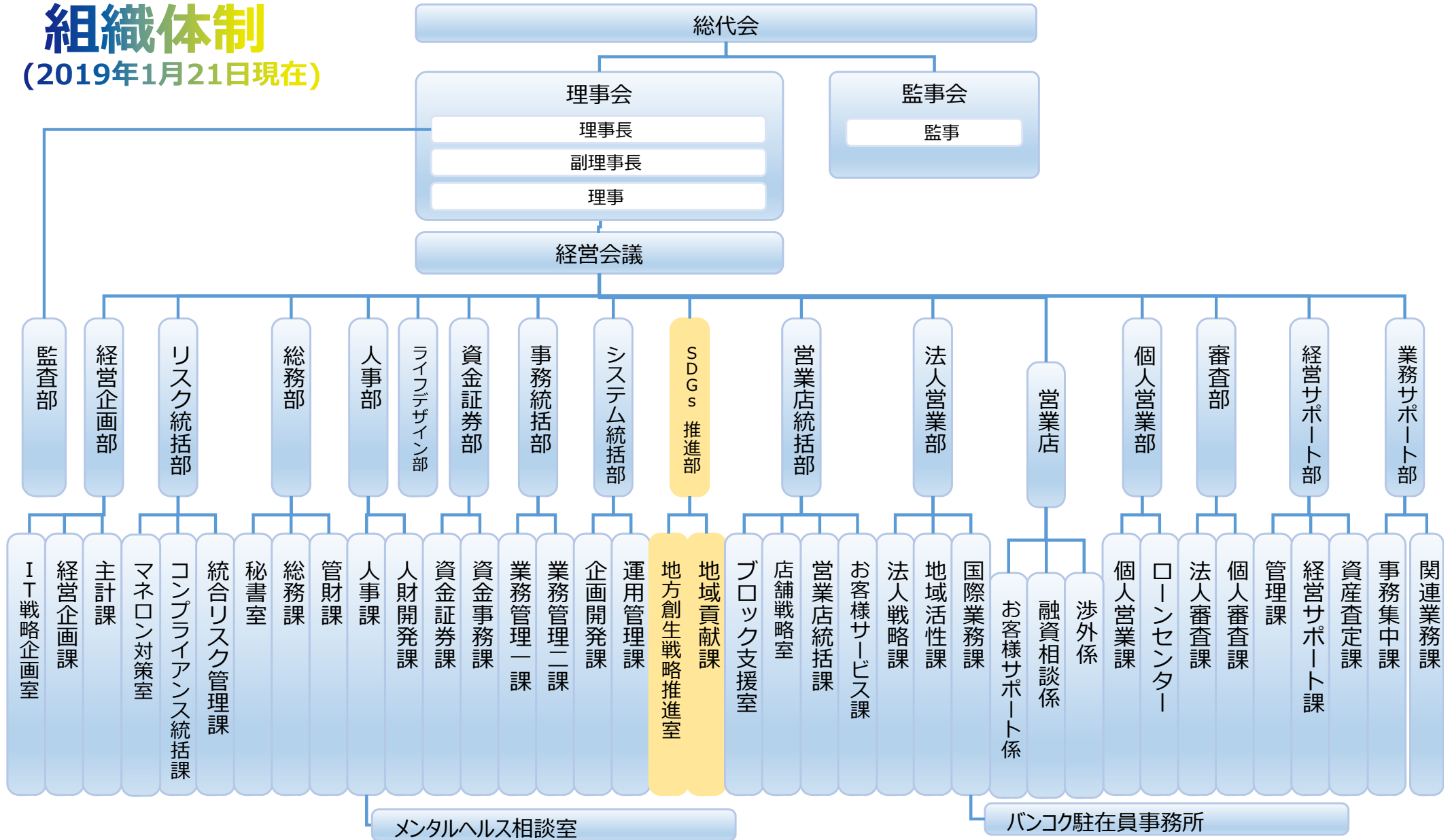
公正かつ健全な経営をおこない、
持続可能な社会づくりに寄与します。

役職員ののために

変革と挑戦を続け、活力ある組織を目指します。

組織体制

(2019年1月21日現在)



SDGs 行動宣言 「ユニバーサルバリュー宣言」

1. 人を大切にする
2. 地域を大切にする
3. 地域への取組みを通じて世界の課題と向き合う
4. 取組みの裾野を広げる

1. 人を大切にする

働き方改革、ワークライフバランス向上、ダイバーシティ推進等、全ての人々が個性と能力を十分に発揮できる働きがいのある職場づくりに努めます。

また、金融仲介機能の発揮を通じて人権保護、社会的弱者支援等の社会的課題の解決に貢献します。

2. 地域を大切にする

地域産業成長へのコミットメント、お取引先企業の付加価値向上、お客様の豊かな生活の実現等、地域の魅力や価値を創出することで、地域・お取引先・当金庫それぞれの持続的な成長を目指します。

また、地域の環境保全や災害対策強化に取り組むことで、住み続けられる街づくりに貢献します。

3. 地域への取組みを通じて世界の課題と向き合う

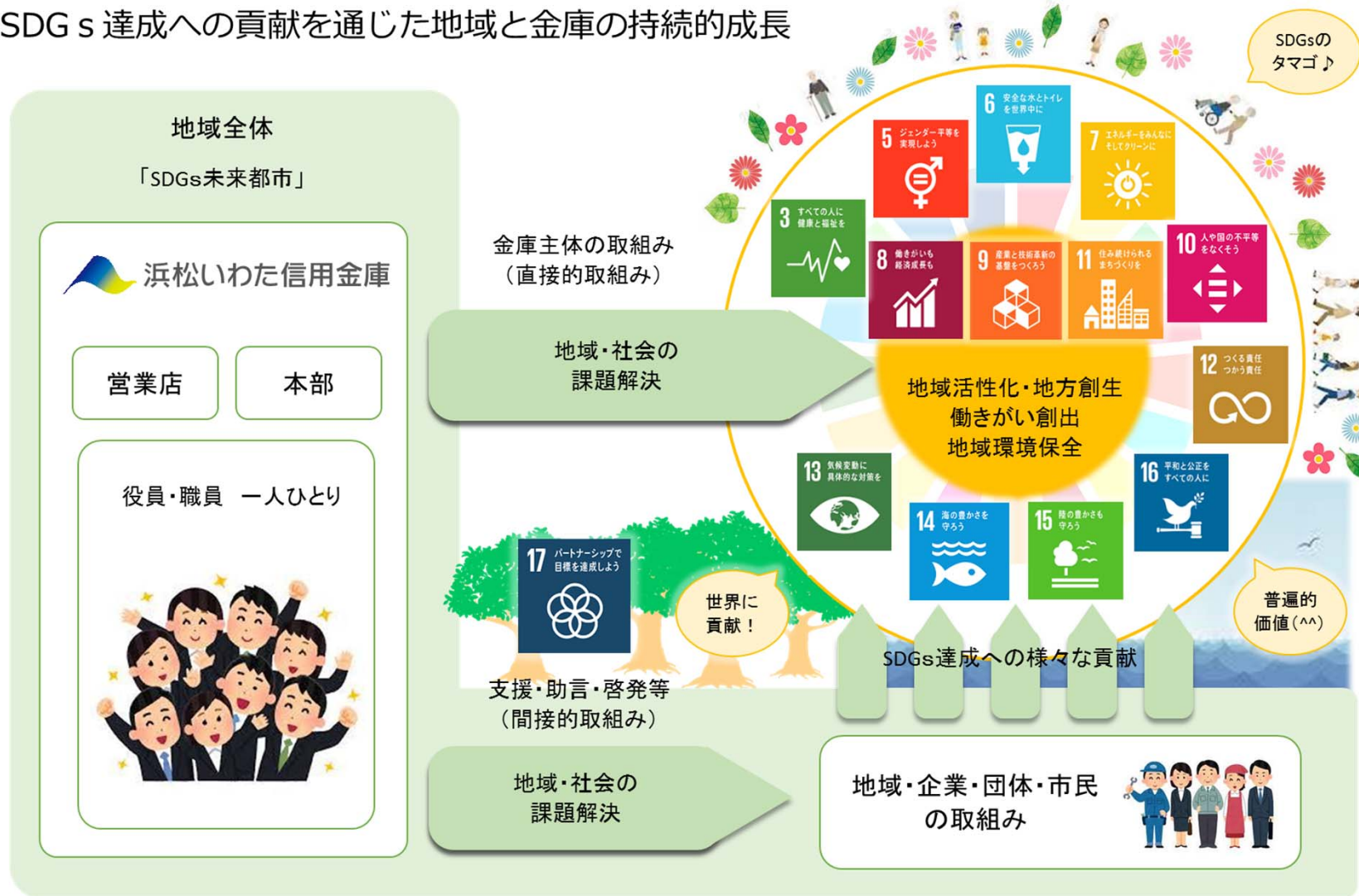
金融仲介機能の発揮を通じて、地球温暖化防止、生物多様性保全等、世界的な課題の解決に貢献するとともに、地域における具体的な取組みを進めます。

4. 取組みの裾野を広げる

お取引先や金庫役職員におけるSDGsの認知度・理解度の向上に努めるとともに、お取引先のSDGsへの取組みを支援することを通じて、取組みの裾野の拡大を目指します。

ユニバーサルバリュー宣言 (イメージ図)

SDGs達成への貢献を通じた地域と金庫の持続的成長



当金庫におけるSDGs活用イメージ

金庫(職員)	働き方改革、ジェンダー平等などの取組みは、働きがい・生きがいを創出するとともに、企業イメージの向上、人材確保につながる。
金融	SDGs視点の融資推進、商品開発、ファンド創設等の取組みは、地域課題の解決に、ESG投資は、世界的な社会課題、環境問題の解決につながる。
地方創生・地域活性化	SDGsは、地域が直面する課題と重なっており、金庫は産学官連携の要となって課題解決に取り組む。
取引先支援	大手企業によるSDGs視点のサプライヤー選別の動きはすでに始まっており、取引先に対する啓発活動は金庫の使命。また、知財活用等による取引先の新たな事業機会創出の支援に取り組む。

当金庫におけるSDGs推進の考え方

地方創生・地域活性化を核としつつ、経済価値を創出しながら、社会課題等の解決を促進する視点をもって経営を行うことにより、地域と金庫の持続的成長を実現する。

⇒ SDGs推進には、全役職員の理解と部門横断的な取組みが必要

行動宣言に基づくSDGsアクションの方向性

- ✓ 働き方・生き方改革の推進
- ✓ 行政等との連携
- ✓ 取引先支援の強化
- ✓ 商品・サービスの開発
- ✓ ESG地域金融の推進
- ✓ ESG投資の推進
- ✓ 環境マネジメントの推進
- ✓ 職員向け啓発活動の実施
- ✓ 取引先への普及活動の実施
- ✓ 適切な情報発信の実施

我々は、貧困を終わらせることに成功する最初の世代になり得る。同様に、地球を救う機会を持つ最後の世代にもなるかも知れない。我々がこの目的に成功するのであれば2030年の世界はよりよい場所になるであろう。

「持続可能な開発のための2030アジェンダ（仮訳）」より